

登録コード	E2802900	開講年度	2026			
授業科目	現代生活論				担当教員	小田 奈緒美
英文授業名	Sociology of Contemporary Living				副担当	山岸 明浩
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	教育W 5 0 5 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	現代社会における家族・家庭生活の変容と実態を的確に知り、これからの家族・家庭生活における課題解決方法を提案できる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	中・高等学校の家庭科を担当する教員として、現代生活にかかわる教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に着けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	家族とは何か、また社会の変化による家族の構成やライフスタイルの多様化及び問題の実態を把握し、さらに、家族への社会的支援のあり方を検討する。(本授業は男女共同参画に関する内容を含む)					
(5)授業計画	第 1回：オリエンテーション、家族の健康管理 第 2回：少子高齢化とライフコースの変化 第 3回：近代家族の成立と変容 第 4回：結婚 第 5回：ジェンダーと家族【遠隔等】 第 6回：離婚【遠隔等】 第 7回：自立と意思決定【遠隔等】 第 8回：子どもと家族【遠隔等】 第 9回：労働と家族【遠隔等】 第10回：家計と家族【遠隔等】 第11回：生活環境と家族【遠隔等】 第12回：金利と悪質商法 第13回：リスクと生活保障 第14回：生活設計 第15回：定期試験及び授業アンケートの実施					
(6)成績評価の方法	社会と家族・家庭生活の変化・実態に関する試験(30%)、毎回のレポート（30%）、ライフプラン表(30%)、受講中の態度(10%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	家族学に関する理論と現代社会の家族の実態が理解できていれば「その水準にある」、その上に、今日の家族・家庭生活における課題を見出せば「やや上にある」、課題の提示にとどまらず、その解決方法を提案できれば「かなり上にある」、さらに、今後における家族生活様式や支援策が提案できれば「卓越している」とする。					
(8)事前事後学習の内容	・ 毎回の授業で前時の授業内容の理解を確認するための課題を提示する。したがって、毎回の授業内容を復習し授業に臨むこと。 ・ この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・ 本科目を受講前に生活経営学基礎を履修すること。 ・ 授業はオンラインで実施することがございます。eALPSを通して、授業の情報を確認してください。 ・ 毎回の授業で行われるレポート課題が評価につながるので、必ず全回出席すること。 ・ 教育実習に伴う欠席は、課題提出を求めるため、事前に申し出ること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談は、学部窓口教員を通して随時受け付ける。 (学部窓口教員：山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp)					
【教科書】	ワークブック「これであなたもひとり立ち」、「君とみらいとライフプラン」は授業内で配布。					
【参考文献】	鶴田敦子・朴木佳織留『現代家族学習論』朝倉書店					